

春の高校バレー 第76回全日本高等学校選手権大会 長野県ファイナルラウンド

女子は都市大塩尻が6連覇 男子は岡谷工業が昨年の雪辱を果たす

【大会副委員長 竹内 護】

今年度も新型コロナウイルスやインフルエンザの感染拡大の恐れがあり、入場制限の危険を感じながら準備を進めてきましたが、お陰様で何とか入場制限を行うこと無しに大会を開催することができました。

11日（土）・12日（日）の長野市ホワイトリングには、一次ラウンドを勝ち抜いた男女の上位8チームが集結。第76回全日本高等学校選手権大会（春の高校バレー）への出場権をかけた熱い戦いが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

また、今年は1日目の準々決勝からライブ配信されるなど、長野県の高校バレー界が注目されている中、男子はシード校が順当に勝ち上がりました。女子は激戦の末に、下諏訪向陽高校と松本国際高校がシード校を破って3位入賞を果たし、中南信勢の活躍が目を引きました。

女子決勝は、松商学園（以下「松商」）が堅実なレシーブからセッター砥石の巧みなトスワークで多彩な攻撃を繰り出し、都市大塩尻（以下「都市大」）の高いブロックに対抗。見応えのあるラリーが展開されました。松商は思い切りのよいサーブも絡めて主導権を握りかけましたが、都市大は北村と市川のポイントゲッターが要所を締めてリードを許さず、第1・第2セットを連取しました。第3セットは、5-5から一歩抜け出した松商が岩下の強打とサーブポイントなどでリードを広げ、逃げ切ってこのセットを取り返しました。しかし、第4セットはスタートダッシュに成功した都市大が奪取。セットカウント3-1で6連覇を達成し、11回目の代表となりました。

一方の男子決勝も、岡谷工業（以下「岡工」）・松本国際（以下「国際」）双方が十分に持ち味を発揮して、一進一退の攻防が繰り広げられました。国際が両サイ

ドから徳留と椿の強打中心に得点を重ね、デュースの末に第1セットを奪うと、第2セットは岡工がリベロ大日方主将を中心とした粘り強いディフェンスから速攻を中心に攻め返して取り返しました。第3セットに入ると、時間差攻撃とフェイントを効果的に使った岡工が序盤からリードを広げて連取に成功。第4セットは、国際も中央からの攻撃を増やして反撃しましたが、岡工は春日のアタック等で優位を保ち、必死の追い上げを図る国際を振り切って2年ぶり 30 回目の優勝を飾りました。

代表となった両チームの選手権大会（春の高校バレー）での大活躍を期待します。以下に男女代表チーム主将のコメントを記載します。



「日本一への挑戦～春の高校バレー出場の決意～」

僕は、2年ぶりに春高出場を決めることができました。今年のインターハイ県予選決勝で松本国際にフルセットで負け、春高では、負けない強さを持って「今年1年間の結果の答えを変える」というテーマで県予選に挑みました。支えてくれた家族、僕が強くなるために毎週遠くまで連れて行ってくれて本気で指導してくれた先生方、試合に出られなくても全力で支えてくれたチームメイトのお陰で全国大会出場を決めることができました。全国大会でもチームメイトを信じ、支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れずにバレーボールを全力で楽しみたいと思います。

悔しい思いも嬉しい思いも共に経験した最高の仲

岡谷工業高等学校男子バレーボール部主将 大日方 優将
間と戦うことのできる最後の大会。オレンジコートという最高の舞台で長野県代表として戦えることに感謝し、勝利で恩返しをします。



「第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会にむけて」

ファイナルラウンドでは、自分たちのバレーを出し切り、圧勝するということが目標としてやってきました。国体での敗戦から、この最後の春高に向けて「日本一をとる」という目標を再確認して全員で戦いました。決勝戦ではスタートから勢いを前面に出し、全員で一体感を作って戦いました。どのセットにおいても、相手の対策に苦しめられる場面がありましたが、最後の1点まで集中力を持続させて勝ち切ることができて良かったです。今年は、声を出しての応援もでき、保護者の方々、学校関係者の方々の多くの応援に背中を押されて、皆で勝ち取った勝利だと思います。最後の全国大会で「日本一」へのチャンスを得ましたが、課題もまだまだたくさんあります。今大会で確認した課題を残り一カ月で修正し、チームとして更にレベルアップしていきたいです。全国大会では、長野県の代表としての誇りとプライドを持ち、都市大の武

東京都市大学塩尻高等学校女子バレーボール部主将 北村 萌恵

器である高速シンクロバレーを展開して全力で戦い「日本一」を勝ち取ります。支えて下さるたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今までやってきたことを信じてプレーし、感動を与えられるような試合をしてきたいと思います。



三溝裕五さん、県教育委員会功労者表彰受賞！

11月9日(木)、県庁において県教育関係者功労者表彰式が執り行われ、本会顧問の三溝裕五(74歳)さんが、長年に亘る社会体育への功労を認められ受賞されました。誠におめでとうございます。

三溝さんは昭和58年に本会強化委員に就任、以後37年間に亘り強化一筋に本会競技力向上にご尽力されました。特に平成17年から7期14年の長きに亘り理事・強化委員長並びに長野県スポーツ協会競技力向上委員会を歴任され、国民体育大会における天皇杯皇后杯得点の獲得に多大な功績を残されました。

また、現在も松商学園の女子バレーボール班の顧問としても活動しており、後進の育成に尽力されています。特に2028長野国スポに向けてビーチバレーの競技力向上に努められ、同校選手を率いて令和元年の茨城国体に出場、コロナ禍でも活動を継続され令和4年

【県協会専務理事 村上里志】

度栃木国体、本年の特別国体(鹿児島)へ同校を導くなど、今なお強化に情熱を注がれご活躍中です。



燃ゆる感動かごしま大会 パラバレーの視察に行ってきました

【県パラ委員会委員長 吉川 豊】

10月27日（金）～10月29日（日）、鹿児島市で行われた「特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会」の視察に行かせて頂きました。南栄リース桜島アリーナ（桜島総合体育館）は4面コートで、知的障害の部と身体障害（聴覚）の部が同会場で開催されました。全国から7チームのブロック代表（東北・北海道、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州、開催県）のトーナメント戦を観戦しました。

難聴の部はかなりレベルの高いバレーボールを展開していましたが、知的障害の部は、男子は少し強い中学生という印象で、女子は3位決定戦のレベルでもパスゲームになってしまふところがあったという様子でした。我々が予選で戦う可能性がある北信越・東海ブロック男子代表の愛知県は、長身者はいないものがないそつのないバレーを展開しており、女子代表の岐阜県は、このまま長野が練習を重ねていけば何とか対抗出来そうな印象を持ちました。

今回視察に行かせて頂き、会場の設営、ボランティアやチーム付きの運営スタッフの動きなど、大変参考になりました。またチーム作りにも光が見えるといっ

た大変有意義な3日間でした。令和7年度を目標に北信越・東海ブロック予選突破につなげられたらとの思いで準備を重ねていきたいと考えています。

今回の視察は、県協会をはじめ多くの皆様のご支援により実現させることができました。有り難う御座いました。



マルニシCUP 第41回長野県小学生バレーボール大会

男子は穂高キッズ 混合は鬼無里 女子は小布施スポーツ少年団が優勝

【県小学生連盟理事長 西澤悦郎】

令和5年10月29日（日）に岡谷市民体育館東体育館、下諏訪町体育館、諏訪市体育館等で、各地区を勝ち抜いた男子8チーム、女子16チーム、混合4チームによって標記大会を開催しました。

男子は「穂高キッズ」が初優勝、混合「鬼無里」は2回目の優勝、女子の「小布施スポーツ少年団」は21回目の優勝に輝きました。

以下、各優勝チームのコメントです。

《穂高キッズ監督 森 哲夫》

春の新人戦の長野米カップ、夏の全日本小学生バレーボール大会に続き、このマルニシCUP第41回長野県小学生バレーボール大会でも初優勝することができて大変嬉しく思います。特に今回のマルニシCUPは6年生にとって集大成で最後の大会となりましたが、それは他のチームも同様で各チームも力を付けて来ていて、苦しい試合展開もあった中で優勝できたことは、選手はもちろん、チームスタッフ、保護者共々感無量です。6年生にはこの経験を糧にして、これからのバレーボール人生を歩んで行っていただけたらと思います。

最後に本大会に携わっていただきました役員及び

関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



《鬼無里バレーボールクラブ代表 道林明理沙》

10月29日に岡谷市で開催された2023年度マルニシCUP第41回長野県小学生バレーボール大会(混合の部)で優勝することができました。

昨年からの目標であった県大会優勝を達成することができた3月の長野米カップ。しかし、夏の全日本では準優勝という結果で全国大会初出場の夢は叶いませんでした。本当に悔しかったのですが、子供達は下を向くのではなく、その悔しさをバネに前向きに自分の課題を克服しようと練習に取り組んでくれました。6年生の優勝への強い想いと、3年生もその想いに応えようと頑張った、この1年の集大成を見ることができました。初戦の大町マーモットさん、決勝の中込さんとは練習試合を通して交流もあり、この県大会はお互いの成長が見られたとても良い試合でした。混合チームは少ないですが、今後も交流の場が広がっていくと嬉しいです。

保護者の皆さんや前指導者の方々には、子供達と

同様に指導者もたくさん支えていただきました。また、練習の手伝いをしてくれたOB・OGの皆さんにもとても感謝しています。一丸となってチームを盛り上げていただきありがとうございました。

最後になりますが、今大会開催に当たりご尽力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



「マルニシ杯第41回長野県小学生バレーボール大会を終えて」

6年生にとっては集大成となる県内最後の大会となるマルニシ杯第41回長野県小学生バレーボール大会において優勝することが出来、このチームでの有終の美を飾ることが出来ました。

秋の大会ともなると、選手に力も技術も身につけてきて、どの試合もレベルの高い試合となります。その中で今回の勝因を考えてみると、普段から練習の中心として行っているサーブ・サーブカットのミスが少なっただけでなく、大きな目立つミスも少なく、メンバー全員が安定したプレーが出来たからだと思います。また、選手の表情が笑顔で、バレーボールを楽しんでいる姿が印象的でした。

今年のチームは、優勝出来る力がありながら、新人戦・全日本・スポ少とあと一歩というところで負けてしまい、悔しい経験を何度もしてきました。ですので、県内最後の大会で優勝することが出来たことは嬉しい限りです。が、このチームもこの大会で終わってしまうのは寂しくも思います。

コロナ騒ぎ以前の大会の雰囲気に戻り、応援が再開され、大歓声の中での試合は見ていて楽しかったです。決勝戦では、交流のあるチームからも応援をしていただき、選手も心強かったことでしょう。ありがとうございます。これで6年生は次の舞台へと進んでいきます。この小学生バレーで経験したこ

《小布施スポーツ少年団女子 土屋正史》

とや学んだことを生かして、もっと大きく成長してほしいです。ここで終わるのではなく、ここからがスタートです。バレーボールの楽しさを忘れず、バレーボール選手としての成長だけでなく、仲間を大切にし、バレーボール以外でも、もっともっと大きく成長してほしいと願っています。

最後になりますが、この大会の準備から当日の運営まで、ご協賛を頂いている株式会社マルニシ様、長野県小連の役員や開催地である諏訪湖支部の役員の皆様など、たくさんの方々のご協力があったの今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



2023-24 V.LEAGUE Division1 MEN 千曲大会

北信初のホームゲームで盛り上がるもVC長野の勝利は成らず

V1リーグ男子のVC長野トライデンツのホームゲームが11月18日(土)・19日(日)、北信地区で初めて千曲市ことぶきアリーナで開催されました。地元とすれば、V1男子リーグ戦が目の前で見られることは嬉しい限りでしたが、スタッフの人員集めが大変で、北信連盟全体での対応になりました。



【副開催地責任者 鈴木 功】

会場準備では、前日に稲荷山養護学校高等部の生徒にライン消し、スタンドフェンス・横断幕の取り付けなども手伝ってもらいました。生徒達はお弁当持ちで、ご褒美に午後にはトライデンツの選手とボールを使っの交流会を楽しみ、みんなニコニコでした。本当に良い機会になったと思います。

予定したスタッフも集まって準備OK……。後は、トライデンツの初勝利を願うばかりでした。当日の観客動員は1日目900人、2日目1000人を超す入場者があり、最高に盛り上がりました。試合結果は、VC長野0-3東京GB、VC長野1-3東京GBで残念ながらトライデンツの初勝利は成りませんでした。只、内容的には接戦のセットばかりで、ここ1本のサーブやレセプションの精度を上げる課題も見えたので、次に期待できるのではないのでしょうか。

今回の開催にあたっては、小学生・中学生・高校生・大学生・家婦連と幅広い力と北信連盟全体の協力があったことが成功させることができました。本当にありがとうございました。来年も千曲大会があるようですので、またお願いいたします。

2023-24 V.LEAGUE Division2 WOMEN 軽井沢大会

GSS東京サンビームズ 今季初勝利を挙げることは成らず

浅間山が冠雪した11月25日(土)・26日(日)、ウィンターシーズンを迎えた軽井沢町の風越公園総合体育館にて、同町をサブホームタウンとするGSS東京サンビームズのホームゲームが開催されました。

今大会は、首位を走っているヴィクトリーナ姫路との対戦カードも組まれており、2日間で700人を超える観客が来場。大いに盛り上がりました。今年も軽井沢町スポーツ協会様のご協力をいただき、無事終了することができました。

GSS東京はここまで勝ち星がなく、ホームゲームで今季初勝利を目指して臨んだ大会でした。25日はリガーレ仙台との対戦。第1セットを失って迎えた第2

【佐久平協会理事長 宮澤 智昭】

セット、24-20でセットポイントを握ったものの、そこから仙台のオポジット加藤の連続スパイクポイント等で大逆転を許し、第2セットも失ってしまうと、そのままセットカウント0-3で敗れてしまいました。26日、開幕から無傷の6連勝と強さが際立ち、全日本代表選手を擁するヴィクトリーナ姫路との対戦。高さでパワーで格の違いを見せつけたヴィクトリーナ姫路にセットカウント0-3で敗れてしまいました。

GSS東京サンビームズは、残念ながら今季初勝利を挙げることは成りませんでした。多くの声援をいただき、素晴らしい大会となりました。



公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1養成講習会を開催

【県指導普及委員 桑原康秀】

11月5日(日)、18日(土)、19日(日)の3日間、大町市において標記講習会を実施しました。今年度も昨年度同様年2回開催し、8月に続き2度目の開催となります。



18日の夜、大町市は突然の降雪で、19日の朝は約20センチの積雪があったにもかかわらず、全員の受講者の方が時間までに集まりました。

5日の開校式に続き、県内で活躍をされております有資格者の皆さまを講師に、決められたカリキュラムに沿いながら、特にコンプライアンスに重点を置いた内容の濃い講習会となりました。

中学校部活の地域移行に伴い、これからの資格の重要性を感じている方々、小学生の指導者、Vリーグの元選手など、様々な方面からの21名が受講し、全員が専門科目を修了して共通科目の結果と合わせて、令和6年10月にコーチ1として認定されます。

バレーボール人口の拡大のためにも、公認指導者としてのご活躍をお祈りいたします。

(一財)長野県バレーボール協会では令和6年度も夏・秋の年2回開催を予定しております。受講希望者が多い地区等がありましたら、会場の調整も可能ですので、県協会までご連絡いただきたいと思います。

JOCジュニアオリンピックカップ第37回全国都道府県対抗中学大会 北信越強化練習会

北信越強化練習会(通称"5県対抗")が福井県で開催される

【県強化委員 木下久資】

12月下旬の大阪での本大会に向けて、北信越5県の中学選抜チームが集まった練習会が11月11日(土)・12日(日)の2日間、福井県坂井市(男子:丸岡

中学校・女子:丸岡南中学校)で開催されました。

まずは、この練習会を終えての男女監督コメントです。

《「北信越地区5県対抗練習会を終えて」 長野県中学男子選抜チーム監督 山岡航太郎》

今回の北信越5県対抗戦につきましては、福井県の先生方、協会の皆様に丁寧な準備をしていただき、このような貴重な機会をいただきましたことに感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

選抜選手とはいえ、他県のチームと練習ゲームを行う経験の少ない中学生にとっては、大変貴重な経験となりました。「練習で成長する長野」を合言葉

に日々の練習を大切にしているチームですので、今回の強化練習会で学んだことや感じたことを更に今後の活動に活かしていきたいと思います。12月の全国大会のコートで選手12名が躍動し活躍する姿を願い、スタッフ・保護者ともに力を合わせ支えていきたいと思っています。

《「北信越地区5県対抗練習会を終えて」 長野県中学女子選抜チーム監督 田辺 圭一》

8月の最終選考会、夏休みの予備合宿を含めると約3ヶ月が経ちました。目的は「12名全員の育成」、最終的な目標は「GET MEDAL」を合言葉に、選手達は常に前を向いて練習に取り組んでいます。

県内の高校生に力をお借りしたり、県外の選抜チームと対戦したりすることで徐々に力がついてきました。今回の北信越強化練習会を終えるまでは全員

をバランスよくゲームに出場させ、2チーム編成での育成と強化をしてきました。これからは、最終的なスタメン構想を練り、本大会に向けて最終段階に入っていく予定です。本大会まで約1ヶ月、課題はまだ多い訳ですが、長野復活を目指して大阪で輝けるように頑張ります。

11月23日(木)には、大阪で行われる本大会(12月25～28日)の組み合わせが決定しました。初日は、全国47都道府県(開催地の大阪は南北に分かれての2チーム)から集まった48チームを3チームずつの16グループに分けてリーグ戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進出します。男子は第1組で、静岡県・大阪南と対戦。女子は第9組で、山口県・北海道と同一グループになりました。過去、男女合わせて優勝6回、3位以上13回を誇る長野県ですが、女子が2015年、石川真佑を擁して優勝して以来、最終日の準決勝以上(3位以内)に進出出来ていません。男女両チームの奮闘を期待したいと思います。



長野県選抜チーム名簿

【スタッフ】

役 職	氏 名	所属校
団 長	牛田 佳伸	松本市立高綱中学校
男子監督	山岡 航太郎	松本市立鎌田中学校
男子コーチ	田貝 エミ	稲荷山養護学校
男子マネージャー	武野 早恵	長野市立柳町中学校
男子アシスタントコーチ	土屋 克明	千曲市立更埴西中学校
男子アシスタントコーチ	中島 弘樹	駒ヶ根市立赤穂中学校
女子監督	田辺 圭一	塩尻市立塩尻中学校
女子コーチ	望月 省吾	麻績村立筑北中学校
女子マネージャー	松村 遥	伊那市立春富中学校
女子アシスタントコーチ	齋藤 里奈	松本市立松島中学校

【男子選手】

【女子選手】

No	氏 名	学 校	学年	身長	氏 名	学 校	学年	身長
①	小林 瑞音	小布施町立小布施中	3	178	紺野 姫衣	松本国際中	3	165
2	塩原 楓矢	松本市立筑摩野中	3	192	梅野 紗永	長野市立三陽中	3	182
3	小林 塁	長野市立東部中	3	186	杉村 まゆり	東御市立東部中	3	176
4	荒木 拓夢	長野市立北部中	3	182	前田 心菜	伊那市立高遠中	3	172
5	西原 慶悟	長野市立広徳中	3	182	宮本 凜	長野市立若穂中	3	170
6	山田 聡太	箕輪町立箕輪中	3	181	滝沢 彩貴	長野市立篠ノ井東中	3	170
7	中沢 謙介	塩尻市立丘中	3	181	轟 碧愛	長野市立三陽中	3	168
8	山岸 聖志	長野市立北部中	3	180	古川 初雪	松本国際中	3	166
9	浅野井 亮太	坂城町立坂城中	3	180	尾澤 彩花	長野市立広徳中	3	165
10	窪田 拓実	長野市立川中島中	2	178	市川 佳奈	長野市立広徳中	3	164
11	芝山 空斗	松本市立開成中	3	177	長井 莉子	上田市立第五中	3	161
12	小沢 春希	箕輪町立箕輪中	3	170	市川 秋風	松本国際中	3	158

男子はOJP 女子は飯山市体協がともに接戦を制して優勝！

【県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

11月26日（日）に伊那市ロジテック・エレコムアリーナにおいて標記大会が開催されました。

男女とも昨年より2チーム多い男子12チーム、女子5チームの参加があり、男子は3チームのグループ戦を行った上で、各ブロックの1位チームによるトーナメント戦で順位を決定しました。女子は五角形の組み合わせでそれぞれ2試合を行って順位を決定しました。

また、男女ともに全試合2セットマッチで行ったため、手の抜けない熱戦が繰り広げられレベルの高い試合となりました。

男子の決勝は地元上伊那とOJPとの対戦となり、接戦を制したOJPが優勝しました。

女子は勝率、セット率で飯山市体協女子とVCMASTが並びましたが、得点率で上回った飯山市体協女子の優勝となりました。

本大会は、強化だけではなく普及も目指し、MRS登録を必要としない大会として開催しております。今回も初出場のチームがあり、今後のバレーボール人口の拡大につながればと思います。

地元のクラブチーム、上伊那協会の皆様には大会運営にご協力をいただき感謝申し上げます。



↑男子優勝 OJP



↑女子優勝 飯山市体協

あすなろU-10長野県小学生バレーボール交流大会を開催

【小連理事長 西澤悦郎】

令和5年11月18日（土）・19日（日）の二日間、松本市・安曇野市の9会場で、あすなろU-10長野県小学生バレーボール交流大会を開催しました。

この大会は、令和元年まで6年生の選抜大会として開催してきましたが、令和2年度・3年度とコロナ禍のため中止し、令和4年度は4年生以下の大会として開催したところ大好評でしたので、今年度から「あすなろU-10長野県小学生バレーボール交流大会」としてリニューアル開催しました。

バレーボールの競技者拡大を図り、小学生バレー

ボールの普及と発展を目的に、未経験児童を含む低学年に、大会を通してバレーボールの素晴らしさや楽しさに触れる機会となるよう、特別ルールも設けました。

初めて大会に参加する児童もあり、特別ルールによって2年生以下はアタックラインからサーブを打つことができたことで、サーブが入って喜んでいる姿がありました。

また、会場では暖かな目で応援をする保護者の姿も見られました。



令和5年度 収支会計 中間監査を実施

【県総務委員長 赤間善浩】

11月16日(木)、鈴木正弘監事、脇坂清志監事による中間監査が実施され、上半期分の帳簿など関係書類の確認が行われました。昨年度、指摘を受けた大会決算書の役員旅費日当の受領印についても改善され、会計事務について、適切に処理されていることが確認されました。



11月 試合結果

- ☆ 第71回秋季北信越大学男女選手権大会
https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R5.11.5_syuuki_hokusinetu_daigaku.pdf

- ☆ 2023-24 V.LEAGUE Division1 MEN (11/4~5 VC長野)
<https://www.vleague.jp/form/a/28478>
<https://www.vleague.jp/form/a/28479>

- ☆ 第44回長野県ママさん連盟 塩尻木曾大会
https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R5.11.5_mamasan_siojirikiso.pdf

- ☆ 第76回全日本高等学校選手権大会 長野県ファイナルラウンド
https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R54.11.11-12_haruko_FR.pdf

- ☆ 第8回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル
https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R5.11.12_soft_free.pdf

- ☆ 第93回全日本9人制総合男子選手権大会
- ☆ 第92回全日本9人制総合女子選手権大会
https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R5.11.19_9alljapan.pdf

- ☆ 2023-24 V.LEAGUE Division1 MEN (11/18~19 VC長野)
<https://www.vleague.jp/form/a/28488>
<https://www.vleague.jp/form/a/28489>

- ☆ 2023-24 V.LEAGUE Division1 MEN (11/25~26 VC長野)
<https://www.vleague.jp/form/a/28498>
<https://www.vleague.jp/form/a/28499>

- ☆ 2023-24 V.LEAGUE Division2 WOMEN (11/25~26 GSS 東京)
<https://www.vleague.jp/form/a/28648>
<https://www.vleague.jp/form/a/28649>

- ☆ ミズノ杯第22回長野県クラブ選手権大会
https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R51.11.26_MIZUNOcup.pdf

12月 スケジュール

12/2(土)～3(日)	2023-24 V.LEAGUE Division3 MEN (ガロonz)	(須坂市)
12/2(土)～3(日)	2023-24 V.LEAGUE Division2 WOMEN (ルートインホテルズ)	(上田市)
12/8(金)～10(日) 12/16(土)～17(日)	天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会 ファイナルラウンド	(東京都)
12/9(土)～10(日)	北信越連盟 組織団体運営会議	(福井県)
12/10(日)・17(日)	県ヤングクラブ連盟 リーグ戦	(塩尻市) (辰野町)
12/14(木)	県スポーツ協会 理事長・競技力向上専門委員合同会議 (国体種目)	(長野市)
12/17(日)	JOCジュニアオリンピックカップ 第36回全国都道府県対抗中学大会 長野県選手団 壮行会	(塩尻市)
12/19(火)	県スポーツ協会 加盟競技団体ガバナンスコード適合性審査委員会	(長野市)
12/23(土)	令和5年度長野県スポーツ指導者研修会 (中南信コース)	(松本市)
12/23(土)～24(日)	2023-24 V.LEAGUE Division1 MEN (VC 長野)	(岡谷市)
12/25(月)～28(木)	JOCジュニアオリンピックカップ 第37回全国都道府県対抗中学大会	(大阪府)